

「保健・医療・福祉等の多職種連携による災害対応研修会」の開催について ～ “支援” と “受援” の双方の視点から実効性の高い対応を考える ～

近年、自然災害が頻発・激甚化する中、災害医療を迅速かつ的確に行うとともに、避難生活に伴う被災者の健康悪化や災害関連死等を防ぐためには、保健・医療・福祉・防災などの多職種が連携した対応が求められるところです。

また、広域的な連携が必要な大規模災害において、円滑で効果的な対応を行うためには、各種支援チーム（DMAT・DHEAT等）の支援側と受援側（被災地の自治体や機関等）の双方がうまく噛み合った体制が必要となります。

こうした観点を踏まえ、標記研修会を下記により開催しますので、当日の取材についてよろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和8年10月19日（月）午後1時30分から午後4時
- 2 場 所 庄内町文化創造館「響ホール」小ホール（庄内町余目字仲谷地 280）
- 3 主 催 庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会（事務局：庄内総合支庁総務課）
山形県庄内保健所
- 4 対象者 庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会の構成団体職員※
保健師、管理栄養士・栄養士、食生活改善推進員 ほか 約 100 名
※管内市・町防災担当、酒田海上保安部、管内消防本部、管内警察署ほか
- 5 内 容
 - （1）情報提供（13:35～13:45）
 - ①山形県地域防災計画
 - ②新たな防災気象情報と避難行動
 - ③やまがた安心ポータル「やまもり」・「耳で聴くハザードマップ」の紹介
 - （2）講 演（13:45～14:45）

「災害時の支援と受援について～地域と連携したDMATの立場から～」

講師 日本海総合病院 救命救急センター診療部長（兼）診療部長（兼）救急科部長
山形県地域災害医療コーディネーター 日本DMATコーディネーター
医師 みどりかわ しんいち 緑川 新一 氏
 - （3）グループワーク（14:55～15:55）

多職種で構成するグループで、「支援と受援について」をテーマに討論